



乾燥だけではありません! 目のゴロゴロ感や痛み、見えにくさも ドライアイが原因かも

日本には、約8百万人以上のドライアイの患者さんがいるといわれています。ドライアイは、その名前から、「目の乾燥感」が主な症状だと思われるがちですが、実は目のゴロゴロ感や痛み、見えにくさ、目の疲れなど、様々な症状もドライアイによって起こります。

ドライアイは、涙と粘膜の病気です。分かりやすく横井先生に解説してもらいましょう。

正常な目 目は涙や粘膜で守られています。



目の表面やまぶたの裏側は皮膚と違い、乾燥や刺激に弱い粘膜です。その粘膜を涙の膜が覆って乾燥から守っています。

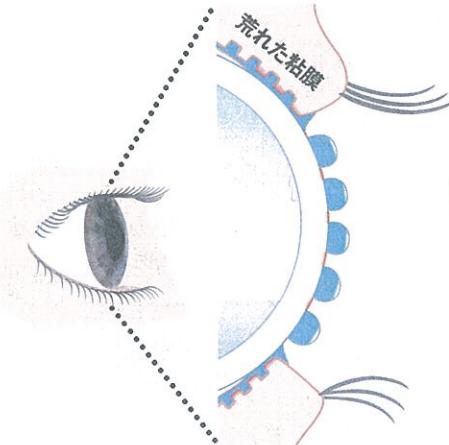
その涙の膜が目の表面を均一におおっていることにより物がくっきりと見えるのです。

私たちは1日に1万回以上のまばたきをして、そのたびに涙の膜を作りなおしています。

まばたきは、車のワイパーに似ています。



ドライアイ(凸凹EYE) ドライアイは涙と粘膜の病気です。涙と粘膜の凸凹が、様々な症状を引き起します。



ドライアイは、涙と粘膜の病気です。ドライアイになると、目の表面やまぶたの裏側の粘膜が荒れて凸凹になります。

粘膜が凸凹になると、まばたきの時にこすれやすくなり、ゴロゴロ感や痛みを感じます。涙も凸凹になり、光が正しく入らなくなることで、見えにくさを感じます。

滑りの悪い傷んだワイパーを使うと、フロントガラスが傷つきます。同じことが目の表面で起こっているのです。



ドライアイ(凸凹EYE)は、病院で治療を受けることが可能です。お困りの目の症状は眼科医に相談しましょう。

まばたきの摩擦でおこる症状(ゴロゴロ感や痛み)は、水分を一時的に補うだけでは十分な改善が得られません。しかし、最近では、粘膜の荒れを直す成分を含む薬が使えるようになり、これらの症状も改善できるようになっています。

自分でドライアイだと判断し、市販の点眼薬などで対処している方も多いでしょう。

しかし、点眼薬に含まれる防腐剤が、ドライアイの症状を逆に悪化させていることもあります。また、目の不快な症状は、ドライアイ以外の原因で起こることも少なくありません。症状が続くようであれば、自己判断せずに眼科医に相談し、適切な治療を受けることが大切です。

京都府立医科大学
眼科学教室 准教授
横井 則彦 氏



Otsuka 大塚製薬

目の乾きだけが、ドライアイではありません。

凸凹EYE?

その不調、デコボコアイかも。

体质ではなくドライアイは病気です。目の表面の涙や粘膜に異常が起きて凸凹(デコボコ)になることにより、乾きや痛み、ゴロゴロ感、見えにくさなど、様々な症状が現れます。つまり『凸凹EYE(デコボコアイ)』が大きな原因だったのです。涙の量の少なさが原因と思われるがちなドライアイですが、新しい治療法により、涙だけではなく粘膜の改善も可能になりました。一度、眼科医に相談してください。

目の健康をかなえていく。大塚製薬



詳しくはWEBへ [デコボコアイ](#) 検索 デコボコアイについての小冊子をお配りしております。詳しくはコールセンターまでお問い合わせください。 ☎ 0120-50-5613 9:00 ~ 18:00 土・日・祝日含む